

当院の体制について

1. 地域医療支援病院について
当院は平成23年4月1日付で福岡県から地域医療支援病院の承認を受けています。地域の医療機関からより詳しい検査や専門的な医療が必要と判断された方に対して適切な医療を提供します。
2. 入院基本料について
当院では、(日勤、夜勤あわせて)入院患者7人に対して1人以上の看護職員を配置しております。また入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。
3. DPC対象病院について
当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせで計算するDPC対象病院です。
医療機関別係数 1.5807
(基礎係数1.0718 + 機能評価係数Ⅰ0.3868 + 機能評価係数Ⅱ0.0961 + 救急補正係数0.0260)
4. 明細書発行体制について
当院では領収証をお渡しする際、計算の基礎となった項目ごとに記載した明細書を無料で発行しています。明細書が必要でない方はお申し出ください。
5. ハイリスク分娩管理加算に係る人員配置と年間分娩件数について
当院では常勤の産婦人科医11名、助産師23名を配置しております。
令和5年1月から令和5年12月までの分娩件数は499件です。
6. 医療安全対策について
当院では医療事故防止対策、院内感染防止対策を含めた医療安全の意識向上、安全文化の構築を目的として医療安全推進室を設置しており、職員への教育・指導を行っております。また、事故防止のために患者さんにご協力を依頼することがありますので、よろしくお願いいたします。
7. 感染防止対策について
感染防止対策は、良質・適切な医療提供の基盤となるものです。当院は感染防止対策を病院全体として取組み感染対策チーム(ICT)が医療施設内における全ての人々を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応に努めております。
8. 歯科診療にかかる体制について
当院歯科では、患者さんの偶発症に対する緊急時には速やかに救急科と連携をとり適切な対応に努めます。また、院内感染防止についても院内感染対策室を設置しており、歯科診療における医療安全に取り組んでいます。患者さんにとってより安心して安全な歯科治療の提供を行っております。
また、自動体外式除細動器(AED)を院内に保有しています。
9. 敷地内禁煙について
当院では、健康への影響と防災の面から周辺の道路も含めて敷地内禁煙となっております。
敷地内は高濃度の酸素などが配管されているため、喫煙は固くお断りします。
10. 入院時の食事について
当院では、入院時食事療養(I)の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時(夕方については午後6時以降)、適温で提供しています。
11. 後発医薬品について
当院では、患者さんの医療費負担軽減及び医療保険財政の改善のため、後発医薬品(ジェネリック医薬品)を積極的に使用しております。
ご不明な点等ございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。
12. 栄養サポートチーム(NST)について
当院では、入院する患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養管理の推進を行っております。
患者さんが最適な栄養管理を受け、早期退院や社会復帰ができるように支援します。
13. 緩和ケアチームについて
当院では、入院する患者さんの症状マネジメントを行っております。
患者さんの症状コントロール、QOLの改善・維持ができるように支援します。
14. アレルギー性鼻炎免疫療法について
当院では、アレルギー性鼻炎免疫療法を行っております。
15. 慢性維持透析を行っている方への下肢抹消動脈疾患に関するリスク評価について
当院で慢性維持透析を行っている全ての患者さんに上記評価を行っており、必要に応じて専門的な治療体制を有する循環器内科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科へご紹介します。
16. 院内トリアージの実施について
当院では夜間/休日又は深夜に受診される患者さんに対して、院内トリアージ基準に基づき医師又は看護師が患者さんの状態を評価し、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行います。そのため、診察の順番が前後する場合がございますが、ご了承ください。
17. 外来腫瘍化学療法診療料について
専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時1人以上配置され、本診療料を算定している患者さんから電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を整えています。また、急変時等の緊急時には入院できる体制を確保しております。なお、当院で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会(がん治療委員会)を定期(月1回)開催しております。
18. 医薬品の供給体制について
当院では、医薬品の供給が不足した場合に治療計画等の見直しを行う等、適切に対応する体制を有しております。医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性があります。その場合は患者さんに十分な説明を行います。

保険外負担に関する事項について

以下につきましては、保険適用外となります。

1. 初・再診時の選定療養費について

厚生労働省により保険医療機関の相互機能分担を目的として、一般病床400床以上の地域医療支援病院について、一定額以上の徴収が義務付けられました。当院は400床以上の地域医療支援病院に該当するため、令和4年10月1日以降、下記のとおり料金を徴収させていただきます（税込）。

（医科）

初診時選定療養費 11,000円 再診時選定療養費 3,300円 初診時コーディネイト費 33,000円

（歯科）

初診時選定療養費 5,500円 再診時選定療養費 2,200円 初診時コーディネイト費 33,000円

2. ベッドサイド設備利用料およびテレビ視聴の無料化について

全ての入院患者さんに床頭台・テレビ・冷蔵庫・セーフティボックス等の設備利用料として、1日あたり330円（税込）をご負担いただきます。なお、以下の患者さんからはベッドサイド設備利用料の徴収はいたしません。

- ・個室利用料（室料差額）をお支払いいただく患者さん
- ・ICU、HCU、重症者等療養環境特別加算病床、無菌室治療室管理加算病床、観察室、新生児治療室に入室される患者さん

3. 個室料等について（税込）

区分	使用料（1日）	病床数	病棟
特別室	33,000円	1	西入院棟8階
特別室	27,500円	1	西入院棟8階
A個室	16,500円	4	東入院棟5階・6階・西入院棟7階
B個室	14,300円	2	東入院棟7階
C個室	11,000円	87	各病棟
D個室	8,800円	29	北入院棟3階・4階・5階・6階
2床室	5,500円	20	北入院棟3階・5階・6階

※助産を伴う入院は、消費税は課税されません。

4. 診断書・証明書について（税込）

種別	金額	種別	金額	種別	金額
普通診断書	2,200円	年金診断書	5,500円	生命保険診断書	6,600円
健康診断書	3,300円	身体障害者用診断書	5,500円	外国語診断書	5,500円

その他当院規定により徴収させていただきます。

- ・診断書や証明書等の郵送対応料金 500円
- ・産婦人科外来における子宮頸部細胞診などの検査結果郵送対応料金 500円

【診断書・証明書に関するお問合せ・お申込み先】

<外来患者さんの場合>

本館1階 ②番再診受付にお申し出ください。

<入院患者さんの場合>

ご入院されている病棟の事務スタッフにお声掛けください。種類によっては本館1階医事課でお預りする場合がございます。

※いずれの場合も、お預りから1～2週間の期間をいただきます。

※ご指定の連絡先に担当からご連絡いたします。平日9：30～16：30の時間にお越しください。

5. 入院期間が180日を超える入院に関する基準

患者さんの事情により長期に入院される場合は180日を超える日から入院料の一部を保険診療とは別に以下の金額を負担していただきます。ただし難病や重症の患者さんにつきましてはこの負担はありません。

選定療養（180日を超えた日から）1日につき 2,783円（税込）

6. その他（税込）

種別		料金	種別		料金
セカンド オピニオン料	30分以内	5,500円	おむつ代（ベビー用）	1袋	572円
	30分超過毎	5,500円	おむつ代（新生児用）	1袋	264円
乳房外来	1回	2,000円	おむつ代 （大人用） 1枚あたり	ライフリーのびーる フィット テープ止め	S~M 72円 L 83円
診療録開示に係る カルテコピー料	カルテ(片面)	22円		ライフリー 横モレ安心 テープ止め	LL 99円
	カルテ(両面)	44円		ライフリー 一晩中安心 さらさらパッド	スーパー 55円
	電子媒体1枚	1,100円			ウルトラ 61円
診療録開示に係る レントゲンコピー料	電子媒体1枚	1,100円			エクストラ 77円
				ライフリー リハビリパンツ レギュラー	S 61円 M 66円 L 73円 LL 83円
診察券再発行料	2回目以降	100円		外モレ安心 さらさらパッド	レギュラー 33円
処方箋紛失時の再発行料	1回	748円		ライフリー かんたん装着 パッド	レギュラー 22円
病衣貸与代	1日	100円			
付き添い食（小児入院）	1食	737円			
おむつ代（小児用S）	1袋	1,663円			
おむつ代（小児用M）	1袋	1,914円			
おむつ代（小児用L/男児）	1袋	1,694円			
おむつ代（小児用L/女児）	1袋	1,694円			

※助産を伴う入院は、消費税は課税されません。

その他（非課税）

種別	料金	
マタニティヨガ	初回	1,000円
	2回目以降	500円

予防接種料金については当院規定により徴収させていただきます。

各種窓口のご案内

1. 患者相談窓口（総合相談センターのご案内）

当院では患者さんやご家族からの疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、さまざまな相談に対応する窓口を設置しております。また、医療安全に関することについて医療安全管理者による相談をお受けしております。ご相談のある方は、直接窓口へお越しください。
ご相談内容に関しては、個人情報適切に保護し、相談したことによる不利益を被ることのないよう配慮いたします。

【お問合せ先】本館1階 ⑦地域医療連携室
※受付時間 平日8：30～17：00にお願いいたします。

2. 禁煙外来について

当院では第2・4火曜日に禁煙外来の診察を行っています。
完全予約制のため、受診ご希望の方は下記へお電話でご連絡の上、ご予約ください。

【お問合せ先】本館1階 外来予約変更コーナー
電話0120-521-991
※お問合せは平日14：30～17：00にお願いいたします。

昨年の実績について

1. 令和5年1月～令和5年12月の医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術の実績

区分	手術名	件数	区分	手術名	件数	
1	ア 頭蓋内腫瘍摘出術等	21	4 -	胸腔鏡下・腹腔鏡下手術等	945	
	イ 黄斑下手術等	43	ア	人工関節置換術等	112	
	ウ 鼓室形成手術等	30	イ	乳児外科施設基準対象手術	0	
	エ 肺悪性腫瘍手術等	62	ウ	ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術	119	
	オ 経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	436	エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)及び体外循環を要する手術	17	
2	ア 靭帯断裂形成手術等	1	その他	オ	経皮的冠動脈形成術	41
	イ 水頭症手術等	41		急性心筋梗塞に対するもの	3	
	ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0		不安定狭心症に対するもの	10	
	エ 尿道形成手術等	7		その他のもの	28	
	オ 角膜移植術	0		オ	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	カ 肝切除術等	47		経皮的冠動脈ステント留置術	296	
	キ 子宮付属器悪性腫瘍手術等	32		急性心筋梗塞に対するもの	56	
3	ア 上顎骨形成術等	0		不安定狭心症に対するもの	51	
	イ 上顎骨悪性腫瘍手術等	0		その他のもの	189	
	ウ バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	4				
	エ 母指化手術等	0				
	オ 内反足手術等	0				
	カ 食道切除再建術等	1				
	キ 同種死体腎移植術等	26				

2. 急性期充実体制加算にかかる各種年間実績（令和5年4月～令和6年3月）

(1) 手術等に係る実績

項目	件数
全身麻酔による手術（2,000件／年以上）	3,456
うち、緊急手術（350件／年以上）	368
悪性腫瘍手術（400件／年以上）	808
腹腔鏡下手術又は胸腔鏡下手術（400件／年以上）	1,134
心臓カテーテル法による手術（200件／年以上）	796
消化管内視鏡による手術（600件／年以上）	672
化学療法（1,000件／年以上）	1,561
異常分娩（50件／年以上）	179
6歳未満の乳幼児の手術（40件／年以上）	79

(2) 外来化学療法の実施を推進する体制

- 外来腫瘍化学療法診療料1の届出を行っている。
- 当院で化学療法を実施した患者全体に占める、外来で化学療法を実施した患者の割合が6割以上である。
令和5年度実績：6.9割
化学療法を実施した実患者数 1,039人/年 うち、外来で化学療法を実施した実患者数 718人/年

(3) 24時間の救急医療提供

精神科医が速やかに診療に対応できる体制を有している（他院にて）

当該保険医療機関名：福岡県立精神医療センター太宰府病院 担当精神科医師 重松 淳哉

項目	件数
救急搬送件数（2,000件／年以上）	6,862
救急搬送患者の入院3日以内における入院精神療法の算定件数（20件／年以上）	31

(4) 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制

ア 院内迅速対応チームの構成員

- 医師：松浦 広英、鷺尾 康生、小河 清寛、河合 俊輔
- 専任の看護師：研井 礼子、川中 直美、牛島 崇人

イ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に関する改善の必要性等について提言するための責任者名：永井 英司

ウ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者に対する対応方法に係るマニュアルを整備し、職員に遵守させている。

エ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善に関する委員会又は会議の開催日：2023年5月17日、6月28日、8月9日、9月19日、10月31日、11月29日、12月26日、2024年1月29日、2月20日、3月21日
うち、イの責任者の出席日：2023年5月17日、8月9日、9月19日、10月31日、11月29日、2024年1月29日、2月20日、3月21日

オ 院内講習の開催日：2023年7月31日、9月13日、9月20日、9月21日、9月25日、9月27日、10月3日、10月11日、10月17日、11月2日、11月20日、11月21日、11月28日、12月19日、2024年1月15日、2月21日、2月22日

(5) 外来縮小体制

- 初診に係る選定療養の報告を行って実費を徴収している
- 紹介割合の実績が50%以上かつ逆紹介割合の実績が30%以上

項目	件数
初診の患者数	25,390
再診の患者数	211,721
紹介患者数	15,880
逆紹介患者数	26,838
救急患者数	12,964
紹介割合	86.7%
逆紹介割合	118.0%

(6) 退院に係る状況等

- 一般病棟における平均在院日数（14日以内）：10.4日
- 一般病棟の退院患者（退院患者を含む）に占める、同一の保険医療機関の一般病棟以外の病棟に転棟したものの割合（1割未満）：0.0割

(7) 禁煙の取り扱い

当院では、健康への影響と防災の面から周辺の道路も含めて敷地内禁煙となっております。敷地内は高濃度の酸素などが配管されているため、喫煙は固くお断りします。

3. 大腿骨近位部骨折後48時間以内に手術を実施した年間実績（令和5年1月～令和5年12月）

53件
